

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-91460
(P2002-91460A)

(43) 公開日 平成14年3月27日 (2002. 3. 27)

(51) Int.Cl.⁷

G 1 0 K 15/04

識別記号

3 0 2

F I

G 1 0 K 15/04

テーマコード* (参考)

3 0 2 D 5 D 1 0 8

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-280228 (P2000-280228)

(22) 出願日 平成12年9月14日 (2000. 9. 14)

(71) 出願人 500246201

株式会社エイトク

東京都調布市布田1丁目3番1号

(72) 発明者 新村 紘宇二

東京都調布市布田1丁目3番1号 株式会
社エイトク内

(74) 代理人 100104798

弁理士 山下 智典

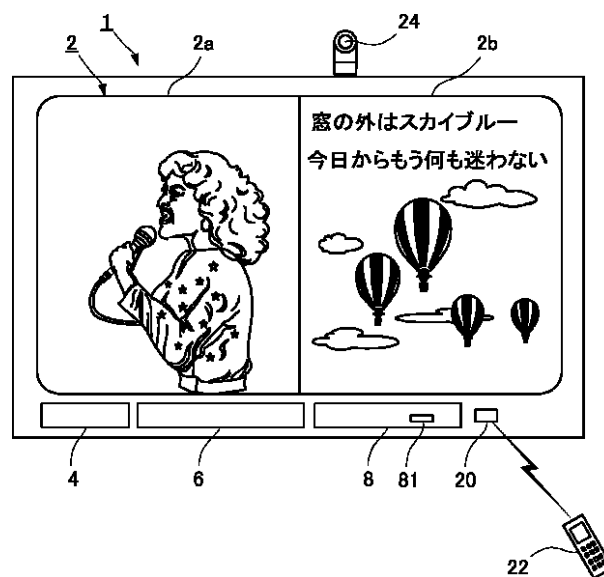
Fターム (参考) 5D108 BA04 BB03 BD12 BG10

(54) 【発明の名称】 カラオケ付きテレビ受像機

(57) 【要約】

【課題】 設置後に直ちにカラオケを楽しむことができるカラオケ付きテレビ受像機を提供する。

【解決手段】 左右の表示領域 2 a , 2 b に 2 系統の画像を表示可能なディスプレイ 2 を設け、カラオケ再生装置 8 からの映像信号と、テレビカメラ 2 4 からの映像信号とを表示する。また、カラオケ再生装置 8 からの音声信号と、マイクの音声信号とをミキシングして出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の映像信号および第1の音声信号を出力するカラオケ再生装置と、
第2の映像信号に係る画像と、前記第1の映像信号に係る画像とを表示面を分割して表示するディスプレイと、
第2の音声信号と、前記第1の音声信号とをミキシングして出力するミキサとを有することを特徴とするカラオケ付きテレビ受像機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、カラオケに用いて好適なカラオケ付きテレビ受像機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、家庭用テレビ受像機等の映像/音声入力端子に接続できるカラオケ装置が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のカラオケ装置においては、ユーザがカラオケ装置とテレビ受像機との間等の配線を行わなければならない、煩雑であった。この発明は上述した事情に鑑みてなされたものであり、設置後に直ちにカラオケを楽しむことができるカラオケ付きテレビ受像機を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため本発明にあつては、下記構成を具備することを特徴とする。なお、括弧内は例示である。請求項1記載の構成にあつては、第1の映像信号および第1の音声信号を出力するカラオケ再生装置(8)と、第2の映像信号(テレビカメラ24からの映像信号)に係る画像と、前記第1の映像信号に係る画像とを表示面を分割して表示するディスプレイ(2)と、第2の音声信号(マイク18からの音声信号)と、前記第1の音声信号とをミキシングして出力するミキサ(セレクト/ミキサ4)とを有することを特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施形態のカラオケ付きテレビ受像機の外觀構成を図1を参照し説明する。図において1はカラオケ付きテレビ受像機の筐体であり、その正面中央部分にブラウン管等のディスプレイ2の表示面が露出している。ディスプレイ2は、2画面対応のディスプレイであり、左右の表示領域2a、2bに異なる供給源からの画像を表示することができる。

【0006】筐体1の上方にはテレビカメラ24が設けられ、ユーザの姿等を撮像する。テレビカメラ24には光センサが内蔵され、照度の強い方向に自動的に追尾されるように構成されている。従つて、ユーザに対してスポットライトを当てておくと、自動的にユーザが撮像されることになる。

10

【0007】4はセレクト/ミキサであり、ディスプレイ2の表示態様(一画面表示を行うか二画面表示を行うか)の設定および各画面に表示する映像信号の選択等を行う。6はDVD再生/録画装置であり、ディスプレイ2に表示される映像信号を録画する。8はカラオケ再生装置であり、カラオケに係る映像信号および音声信号を出力する。20は赤外線センサであり、リモコン装置22からの操作信号を受信する。

10

【0008】次に、カラオケ付きテレビ受像機のハードウェア構成を図2を参照し説明する。10はチューナであり、図示せぬアンテナから受信した無線周波信号を復調し、映像信号および音声信号を出力する。12は走査線分割回路であり、ディスプレイ2の各水平走査線の領域を前半と後半の2領域に分割し、各領域に異なる映像信号に割り当て、これによって左右に異なる系統の映像を表示させる合成映像信号を出力する。

20

【0009】14はアンプであり、供給された音声信号をスピーカ16を介して発音させる。カラオケ再生装置8は、その正面に、カラオケのマルチメディアファイル(映像情報およびMIDIデータから成るファイル)を記憶したメモリチップ81を挿入することが可能になっており、このメモリチップ81を入れ換えることによって様々な楽曲を再生できるようになっている。例えば、メモリチップ81の記憶容量が360MBであれば、3000曲程度のマルチメディアファイルを記憶することが可能である。

30

【0010】さらに、カラオケ再生装置8は、外部のカラオケサーバ100に接続され、ここより適宜カラオケ楽曲のマルチメディアファイルをダウンロードし、メモリチップ81に記憶させることが可能である。

30

【0011】セレクト/ミキサ4には、入力映像信号および入力音声信号として、テレビカメラ24が出力する映像信号、DVD再生/録画装置6が出力する映像信号および音声信号、カラオケ再生装置8が出力する映像信号および音声信号、チューナ10が出力する映像信号および音声信号、外部から入力される映像信号および音声信号、走査線分割回路12が出力する映像信号が供給される。

40

【0012】また、セレクト/ミキサ4は、これら入力映像信号のうち任意のものを走査線分割回路12、ディスプレイ2、またはDVD再生/録画装置6に出力し、入力音声信号をアンプ14またはDVD再生/録画装置6に出力する。さらに、セレクト/ミキサ4は、入力音声信号については、任意の複数系統の信号をミキシングして出力することができる。

50

【0013】以上の構成により、セレクト/ミキサ4は、様々な使用態様で、信号の切替/ミキシングを行うことができる。例えば、テレビカメラ24およびカラオケ再生装置8からの映像信号を走査線分割回路12に供給し、走査線分割回路12の出力映像信号をディスプレ

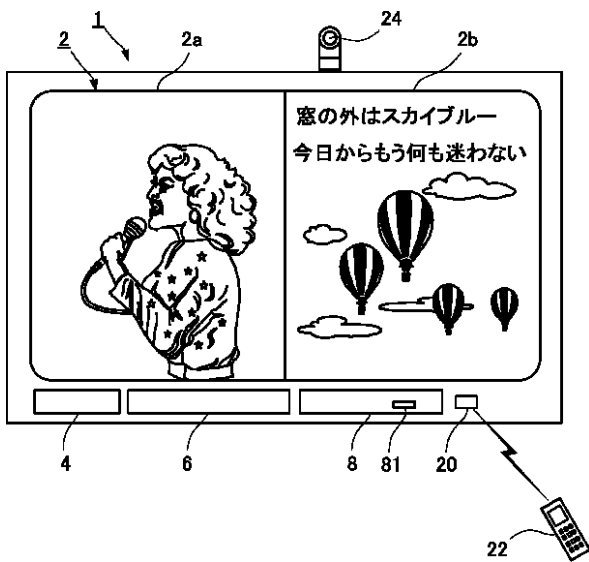
イ 2 に供給すると、図 1 に示すように、左表示領域 2 a にはテレビカメラ 2 4 において撮像されたユーザ等の映像が表示され、右表示領域 2 b にはカラオケのマルチメディアファイルの映像が表示される。そして、左表示領域 2 a に表示されたユーザ等の映像と、上記ミキシングされた音声信号とを DVD 再生 / 録画装置 6 に供給すると、これらを録画および録音することができる。

【 0 0 1 4 】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、カラオケ付きテレビ受像機を設置することにより、ユーザは直ちにカラオケを楽しむことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】



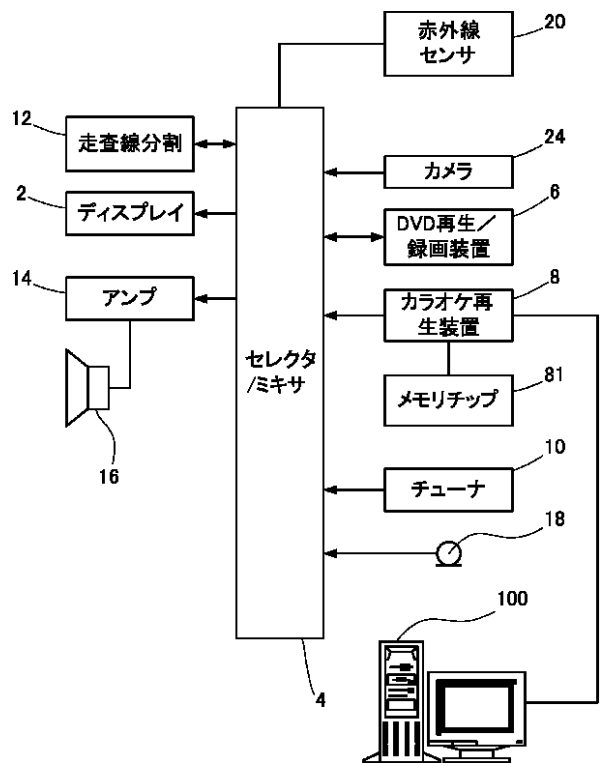
* 【図 1】 本発明の一実施形態のカラオケ付きテレビ受像機の正面図である。

【図 2】 一実施形態のカラオケ付きテレビ受像機のブロック図である。

【符号の説明】

1...筐体、2...ディスプレイ、2 a , 2 b...左右の表示領域、4...セレクタ / ミキサ、6...DVD 再生 / 録画装置、8...カラオケ再生装置、10...チューナ、12...走査線分割回路、14...アンプ、16...スピーカ、18...マイク、20...赤外線センサ、22...リモコン装置、24...テレビカメラ、81...メモリチップ、100...カラオケサーバ。

【図 2】



*